



鹿児島県看護協会広報誌

看護かごしま

Vol.
198
2025 Winter

Nursing Kagoshima



Photo: 指宿スカイラインからの初日の出 (撮影者: 的場浩二)

Contents

- ◆ 年頭のご挨拶..... 2
- ◆ 認定看護管理者教育課程 受講者の声 4
- ◆ 進学・就職応援フェア-みらいワークかごしま-... 5
- ◆ 2024年度『ちとばっかい業務改善in鹿児島』... 5
- ◆ 地区だより..... 6
- ◆ ナースセンターだより..... 9
- ◆ 理事会報告.....12

令和6年度会員数

保健師	456人
助産師	375人
看護師	10,586人
准看護師	379人
合計	11,796人
(令和7年1月23日現在)	



広報委員会キャラクター
「ニャン看護師」



<https://k-kango.jp>

年頭のご挨拶



令和7年を迎え、穏やかに新年のスタートを迎えることができた事を改めて感謝するとともに、本年も引き続き、皆様の看護協会活動へのご理解とご協力を賜ります

ようお願い申し上げます。

昨年元日に発生した能登半島地震から早1年が経過しましたが、現地の復興はまだ道半ばという状況にあります。今後、県内で大規模災害が発生した場合の迅速かつ適切な看護活動に備えて、1月18日に実施する本会主催看護学会のテーマを「災害に備える～共に生きる看護力～」とし、被災地石川県の看護協会会長による特別講演やシンポジウム等を予定しております。



新たに就任された県医師会長の牧角先生来館



14年間 県医師会会長を務められた池田先生が退任あいさつに来館

公益社団法人鹿児島県看護協会 会長 八田 冷子

また、本研修会館につきましては、昨年12月末に長期保全計画のための調査を終え、本年は補修計画並びに予算確保等具体的な検討を行うこととしており、本年1月の理事会で新たに「鹿児島県看護研修会館あり方検討会」を設置する事が承認されました。会員減少や物価高騰等財政的に厳しい時を迎えておりますが、会員の皆様のご理解・ご支援をいただけるよう、本研修会館の未来の姿に思いを馳せながら建設的な議論の場にしたいと考えております。

今後とも、令和7年度日本看護協会通常総会で公表される新たな看護ビジョンを看護の専門性を発揮するための指針とし、看護職能団体として看護職の皆様へ寄与できる事業をさらに進めてまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



ユニセフ事務局長と学生ボランティアの方が来館し、かわいいサンタさんをプレゼントしてくださいました。

副会長 谷川 智子



謹んで新春をお祝い申し上げます。今年は「蛇年」ですが、蛇は昔から脱皮を繰り返すことで新しい姿になることから「成長」や「再出発」を表すそうです。「再出発」といえば、近年の新型コロナウイルス感染症の波にのまれ、本来のあるべき看護がおざなりになっていないかを、改めて見直す時期にきているかと思えます。特に病院におきましては、面会制限、外部関係者を交えたカンファレンスや外出・外泊訓練・自宅訪問の差し控え等、地域包括ケアを目指す「その人らしい暮らし」に支障を来していることは紛れもない事実です。少しでも早く、私たちが大切にしている「看護の原点」に立ち戻れるよう考えていきたいと思えます。

いずれにいたしましても、あらゆる場面で皆様が看護の力を発揮するためには、人材確保を始め様々な課題が溢れておりますが、皆様がやりがいを持って看護に携われますよう、看護協会理事として活動して参ります。最後に、皆様にとって、実り多き一年になりますことを祈念申し上げます。

いづれにいたしましても、あらゆる場面で皆様が看護の力を発揮するためには、人材確保を始め様々な課題が溢れておりますが、皆様がやりがいを持って看護に携われますよう、看護協会理事として活動して参ります。最後に、皆様にとって、実り多き一年になりますことを祈念申し上げます。

副会長 渡邊 和代



新年明けましておめでとうございます。

現役世代が急激に減少する中、看護職不足がますます懸念されておりますが、昨年度は「看護の日」ロゴマークなどをデザインしたラッピングバスを走行させるなど、若い世代に向けて看護の仕事や魅力をアピールしました。本年度においても、地区支部の皆様をはじめ、行政や学校等多方面の方々とともに、未来の看護職の確保対策や経験豊かな看護職の方々の活躍推進等により、皆様の働きやすい環境整備に少しでもつなげるよう努めてまいりますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2025年は再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく乙巳（きのとみ）の年、皆様にとって、しなやかで知恵に満ちた素晴らしい一年となりますよう祈念しております。



看護職に期待すること



鹿児島県保健福祉部
部長 房村 正博

新春を迎えるに当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

公益社団法人鹿児島県看護協会の皆様には、かねてから本県の保健・医療・介護・福祉行政の推進に対し、御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、昨年は、6年ぶりに県内での開催となりました専任教員養成講習会の実施のほか、改正医療法等に基づく災害支援ナース養成研修の開催など様々な面で貴協会の御支援・御協力を賜り、改めて心から感謝申し上げます。

さて、一昨年、約30年ぶりに改定された「看護師等確保基本指針」では、少子高齢化の進行に伴って、現役世代（担い手）が急減する中で、看護ニーズの増大が見込まれており、看護師等の確保の推進が重要であること、新興感染症等の発生に備えた看護師等確保対策を実施する必要があることなどから、地方公共団体や病院、看護師等がそれぞれの立場で取り組むべき方向性が示されております。

県におきましては、当該指針の趣旨を踏まえ、鹿児島県看護人材確保計画に基づき、看護の魅力発信や修学資金貸与制度による養成、院内保育所運営費助成による職場定着・離職防止の推進など、総合的な看護職員確保対策に取り組んで参りたいと考えております。

また、医療依存度の高い在宅生活を支える質の高い特定行為看護師の養成にも取り組んで参ります。

最後に、看護職の皆様は、日々業務多忙と存じますが、御自身の健康管理にも十分留意していただきたいと思っております。御自身が心身ともに健康である事が、患者や住民の方への最良のケアにつながります。

誰もが安心して必要な医療を受けられる地域づくりのための施策を推進してまいりますので、引き続き、格別の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益社団法人鹿児島県看護協会の今後ますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念いたします。



公益社団法人鹿児島県医師会
会長 牧角 寛郎

あけましておめでとうございます。鹿児島県看護協会の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申

上げます。

貴会会員の皆様は、日頃から鹿児島県の保健・医療・介護・福祉の分野において現場の最前線で献身的にご尽力いただいております。改めて敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

さて、今年はいよいよ、約800万人の団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者になる2025年となりました。

すでに地域住民の高齢化や人口減少が進んでおり、疾病構造や患者をとりまく環境が変化しています。それに伴い、疾患の完治を目指す「治す医療」から「治し、支える医療」への転換が求められているところでございます。住み慣れた地域で安心・安全な医療や介護サービスを県民へ提供するためには「地域包括ケアシステム」の推進が不可欠であります。

今後は、更に基礎疾患を持つ後期高齢者の患者が増えることにより、介護との複合ニーズや在宅での治療に対応する場面が増加すると想定されます。

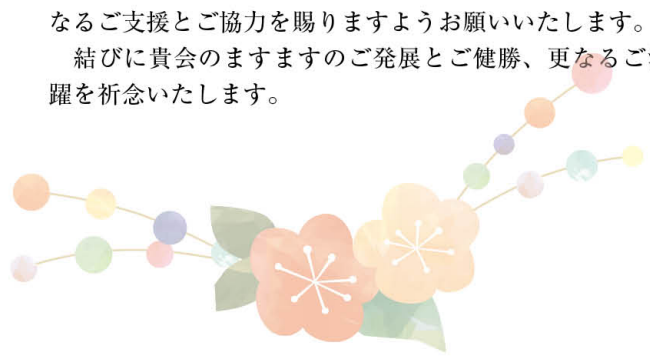
このような時代の中で、看護職の皆様は、病院・診療所での院内勤務にとどまらず、在宅医療・訪問看護など、患者さんの生活により近く、より幅広く活動されており、患者さんが自分らしい生活を送る上で欠かせない重要な存在となっております。

医療・介護・福祉を必要とする人が増加している一方、現場においては、医療・介護従事者不足が社会問題となっております。

本会といたしましても、引き続き県看護協会をはじめとする関係団体・県行政の皆様方と連携しながら、多くの看護職の皆様が地元で働いていただけるよう努めてまいります。

県民が健康でいきいきと暮らせる社会の実現には、看護職の方々の力が必要です。本会も地域医療の充実に向けて積極的に取り組んでまいりますので、引き続き格別なるご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに貴会のますますのご発展とご健勝、更なるご活躍を祈念いたします。



令和6年度認定看護管理者教育課程 受講者の声

1

ファーストレベル教育



クオラリハビリテーション病院
大田 由美さん

私たち92名は20日間にわたる認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修を10月23日をもって終了いたしました。

久しぶりの集合研修・長期の研修であることや先輩方から計画書やレポート作成の大変さを聞いていたため、不安を抱きながら初日を迎えました。しかし、講義での先生方の話や演習でグループメンバーと話をすることで少しずつ緊張がほぐれていきました。

また、後期になると、苦手なグループワークも様々なメンバーの意見を聴き、頭の中を整理したり、新たな情報を得られる有意義な時間となりました。

今回の研修で私は、論理的に考える力を身につけたいと思っていましたが、講義・演習を通して論理的に分析することの難しさを改めて痛感しました。今後も学んだ手法を病棟運営に活用しながら少しずつ分析する力をつけていきたいと思います。また、講義で管理者としてやるべきことを学び、自分自身の足りない部分の多さにも気づかされ、責任の重さや自分にできるのかという不安も感じています。まず何から始めたら良いか優先順位を考えながら足りない部分を少しずつ解決し、前に進んでいきたいと思います。そして、職員のモチベーションが上がり、質の高い看護が提供できるような組織づくりをしていきたいと思います。

研修に参加するに当たり、気持ちよく送り出してくださった上司や同僚、スタッフに感謝し、今回の学びをより質の高い看護が提供できるよう還元していきたいと思います。

最後に、講師の方々、演習支援者の先生方、台風の影響で日程の変更も余儀なくされるなど、ご苦労も多かったと思われる看護協会の皆様、共に学んだ受講生の皆様に心より感謝申し上げます。



2

セカンドレベル教育



メディポリス国際陽子線
治療センター
中馬 育子さん

令和6年9月3日の開講初日、セカンドレベルの同級生となった30名の皆さんにお会いし、大規模な病院で揉まれて活躍している姿が想像できて、とても洗練されたリーダー達に見えました。

私はファーストレベルの受講から13年が空いており、前期の講義では、我が国の医療・介護・福祉のシステムに関する最新の情報や看護管理のノウハウなど現場で直ぐに使える理論を学び、自分が当たり前だと思っていたことは現代にそぐわないものになっていることに衝撃を受けました。自分がどれだけ狭い世界で井の中の蛙と化していたかに気づき、今回受講して本当に良かったと感じて毎日とても楽しく通うことができました。後半になるにつれ、レポート課題や実践計画書の作成に追われる感じが出てきましたが、演習グループの皆さんと励まし合い、くじけそうな心を支えてくださいました。

講義を担当してくださった20名の講師の先生方、中でも現役で看護管理をされている先生方からは、看護に対する熱い思いと職員に対する愛が伝わってきて、何よりポジティブで楽しく仕事に臨んでおられ、こんな管理者のもとで働きたい！と思うリーダー像そのものでした。統合演習で実践計画を支援してくださった5名の先生方には7回も足を運んで時間をかけて実践可能な計画を実現して頂き、とても貴重な財産になりました。1年後に良い報告ができるように明日から取り組んでいきます。

そして、この33日間私たちが気持ちよく学べるように教室やトイレの清掃、環境を整えてくださった看護協会の職員の方々、また朝の挨拶一つで私たちのモチベーションを察知し、優しく寄り添って頂いた教育運営委員の先生方に感謝いたします。

最後に様々な学びを与えてくださった受講生の皆さん、本当にありがとうございました。





12月15日「進学・就職応援フェア-みらいワークがごしま-」

若年者の地元定着を促進するため中学・高校の早い段階から県内企業、進学先を知ってもらい理解を深める目的で開催されました。

看護協会も看護の日週間・行事実行委員メンバーが中心となり体験や相談の窓口を設け、看護師に興味を持ってもらうために参加しました。

全体の参加人数は766名（昨年度より100名増）で看護協会ブースでの体験は57名、相談が8名と多くの方に来ていただきました。

参加者は小学生から看護専門学生とその保護者の方々と幅広く、妊婦体験、高齢者体験、スクラブ着用体験をしました。

参加者は看護師に興味がある方が多く、幼少期から看護師になりたい子や、医療に興味がある子、人のためになる仕事に就きたいという思いがある子などの参加がありました。



(1) 妊婦体験の感想

中学生①「重たくて大変。お母さんありがとう。」

中学生②「床のものが取れない。大変。」

(2) 高齢者体験の感想

高校生③「腰が痛い。」

中学生④「見えにくい。歩きにくい。横になりたい。」

(3) スクラブ体験の感想

中学生⑤「テンションが上がります。嬉しい。」

看護専門学生⑥「早く着たいです。頑張ります。」

親御さん達「わが子ながらかわいい。」「家族に送るから写真を撮ります。」

(4) 相談内容

娘が助産師になりたい母親から「助産師になるためにはどうしたらいいのかわかるのか」

娘が看護師になりたい父親から「看護師になるためには、どんな選択肢があるのかわかるのか」

などの進路相談が多くをしめました。

若い世代に看護をアピールする良い機会となりました。今後、看護師を目指す若者が増えることを期待しております。

職場環境改善委員会

2024年度
『ちとばっかい業務改善 in 鹿児島』

祝!! 最優秀賞受賞
鹿児島市立病院

テーマ「テンプレートを活用した
看護記録の効率化と標準化」



応募された施設紹介

皆様、ありがとうございました!! 働き続けられる職場環境作りへ繋げるために、次年度の応募もお待ちしております。
内容については、看護協会総会時に委員会報告書を配布いたします
ので是非ご覧ください!



沖永良部徳洲会病院

無駄な印刷物削減への取り組み



上町いまきいれ病院

職種を超えてみんなで取り組もう! 業務改善!!



鹿児島市立病院

入院時書類の説明動画導入による看護業務の効率化



鹿児島市立病院

外来化学療法室におけるムリ・ムダを省いた業務改善への取り組み
～外来化学療法室 MAP・検査ツール導入による看護DX化～

南薩地区

南薩地区教育委員活動

南薩地区教育委員会では、専門職としてのキャリア形成と継続的な学びの支援を目的に、地域の看護職員の方々のニーズに沿った教育計画を実施しております。地域は広いので、ハイブリッド形式を採用することで容易に研修参加ができるようにしております。今年度は下記内容の4回の研修会を開催しました。

第1回「大人の発達障害」鹿児島大学教授赤崎先生による講義では、医療現場における患者さんだけでなく、職員間での対人関係ストレス回避の術の一つとして、発達障害に注目し、対応方法や意思疎通について学びを深めました。非常に好評でしたので、第3回のこころのケアでも講師をしていただくことになりました。第2回「フィジカルアセスメント」枕崎市立病院特定看護師の川畑先生による講義では、新人看護師の方々を対象に臨床現場で必要とされる観察ポイントを重点的に講義していただきました。アンケート結果でも、実践現場ですぐに使える等の御意見を多くいただきました。第3回「こころのケアスタッフ養成研修（加世田保健所合同研修）」第1部の県立薩南病院の作業療法士・公認心理師 末廣先生の講義では、こころの疾患の基礎的知識や基本的なカウンセリング技術を先生が御経験された症例等を紹介されながら、分かりやすく展開してくださいました。また、第2部の鹿児島大学教授 赤崎先生の講義では、エゴグラムを用いて参加者自身を分析し、自分自身がどのような傾向があるのかを理解したうえで、理想的な介入方法について学ぶことができました。また、悲劇的な事例を分析すると、その根底には対人関係の問題が深く関与している事などを学びました。第4回「感染予防対策研修」いちき串木野市医師会立脳神経外科センター CNIC 野田先生、県立薩南病院 CNIC 酒井の講義では、基本的な標準予防策を学習した後、感染症事例展開をグループワークで行うことで、ICTとしての分析や対応方法について学ぶことができました。今後も地域の看護職の皆様の看護の質向上に貢献できるよう研修の企画・運営を行っていきたく思います。今後ともよろしくお願いたします。

委員長 酒井 奈穂



赤崎先生によるエゴグラムの解説

医療安全ネットワークの活動

南薩地区医療安全ネットワークは、年4回WEB会議で開催しています。看護協会会員施設に会議のお知らせを行い、毎回約16施設が参加し話し合いをしています。会議前、医療安全管理者として疑問に感じていることや問題点等を出し合い、それぞれの施設での現状を回答案として情報共有しています。また、悩みを共有することで、自施設だけではないという安堵感を得て、医療安全管理者としてそれぞれが前向きに取り組んでいるように感じます。

今後も、医療安全管理者が抱える問題の大小に関わらず、気軽に相談できる関係づくりを目指していきたく思います。

委員長 佐藤 朋子

地域ケアサービス委員会活動報告

地域ケアサービス委員会は、指宿・加世田・伊集院の3地域から2名ずつ選出され計6名で活動しています。

令和6年度の南薩地区活動目標のひとつである「地域活動に参加し、専門職能としての社会貢献を行う」を当委員会の活動目標の中心に掲げ、地域のイベントに参加し、健康相談を実施しています。コロナ禍以降、地域のイベントは縮小され、今年度は5回予定されています。

今後も、直接地域の方々に寄り添い、地域住民の健康維持・増進に貢献できる活動を委員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

委員長 奥 知依

川薩地区

教育委員会活動報告

川薩地区教育委員会では3回の研修会を開催しました。第1回は、地区集会特別講演に医療福祉接遇インストラクターの中園浜子先生をお招きし「接遇～職場での働きやすい人間関係作り～」というテーマでご講演頂きました。医療現場における接遇の重要性と思い込みや捉え方の認識の違いを隣の席の方と笑い合いながら楽しく学ぶことができました。第2回は、救急看護認定看護師の平順幸先生をお招きして「フィジカルアセスメント」研修を新人～3年目看護師を対象に実施しました。普段から五感を用い患者の全身状態を評価し、必要な看護ケアを明確化し実践につなげることを学びました。第3回は、鹿児島純心大学のがん専門看護師の浅野倫子先生をお招きして「在宅看護～患者・家族に寄り添うために～」というテーマでご講演頂きました。在宅における倫理的視点を持ち、事例から療養者の希望に沿った生活を支援していくために何が必要か学ぶことができました。次年度も川薩地区会員の関心のあるテーマを提供し実践に活かせる教育活動をしていきたいと思ひます。

委員長 上口 由紀



地域ケアサービス委員会活動報告

プラッセだいわ宮之城店にて「まちの保健室」を開催しました。血圧・酸素飽和度測定、身長・体重・体脂肪測定、脳年齢測定、健康相談、野菜摂取量測定を実施しました。今年度初の試みとして取り入れた野菜摂取量測定「ベジチェック」は、買い物帰りの夫婦や親子で測定されるなど来場者の反応が高く、「かんごちゃん」が癒しの提供となり大活躍しました。健康相談では普段の生活での気になることや困りごとなどの相談が寄せられました。今後も継続した活動を行いたいと思ひます。

委員長 宮内 香織



医療安全ネットワーク委員会活動報告

川薩地区における医療安全管理者が連携し、情報交換・共有を行い資質の向上を図ること、地区全体の医療安全教育と資質の向上を図ることを目的に活動しており、年4回11施設13名で対面およびZOOMでの会議を開催しています。自施設での課題や知りたい情報を事前に共有し、会議当日各施設での取り組みや資料などを持ち寄り、有効な情報交換ができるようにしています。他施設の取り組みが参考になったり、改めて確認できたり、励みになったりと自施設での医療安全活動に役立っています。今後も施設間で連携し、医療安全の質向上と安全文化の醸成に繋がるよう活動していきたいと思ひます。

委員長 佐多 博美



看護管理者研修を終えて

「看護管理者のための労務管理入門」をテーマに、国立人事代表の新屋尋崇先生をお招きして研修会を開催しました。看護管理者が日々直面している時間外労働の管理、夜勤・交代制勤務の健康管理、有給休暇の取得、休憩時間の管理等の内容で、地区内の10施設から44名、地区外から2名の参加がありました。参加者からは、「労務管理は法律をしっかりと押さえて対応することが大切」「改善の方法・手段を学ぶことができ、ツールを用いて自部署の改善に取り組みたい」などの声もあり、労働法規を理解することが看護師の健康と安全を守り、働きやすい勤務環境を整えることが医療サービスの質の向上にもつながると改めて学ぶ機会となりました。

副地区長 中園 ゆきみ

始良伊佐地区

教育委員会の活動

始良伊佐地区では今年度3回の教育研修を実施することができました。第1回目の「フィジカルアセスメント」では主に新人看護師を対象に実施し、根拠を理解してケアを実施する必要性について学べていました。また少しずつ慣れてきている時期のよい交流の場ともなっていました。第2回目の「ほめる達人」講座では、「ほめるという行動は自己完結であり自分の心も整うことである。」をテーマにワークを取り入れながらあっという間に時間が過ぎてしまい楽しい講演となりました。第3回目は「認知症の人の退院支援を考える～地域での暮らし～」というテーマでの講演では、病気のことを話せる場を作ることや認知症の方にも役割を担ってもらい社会の一員として役に立っているという意識を持ってもらうことの必要性について講演がありました。どの講演も受講者のみなさんの満足度が高く、今後も参加者のニーズや情勢をみたくうえで企画を行っていきたいと思います。

教育委員長 久永 真由美



地域ケアサービス委員会の活動

地域ケアサービス委員会は、各地区（始良・霧島・伊佐）でお祭り等のイベント時「まちの保健室」を開催し、各種測定や相談等を行っています。参加者から「測ってもらってよかった」「元気になれた」などの感想をいただいております。今後も地域住民の方々が、健康に関心を持ってもらえるような活動を継続していききたいと思います。

また、今年度は「看護職の再就職応援カフェ」をナースセンターと共同で開催しました。参加者からは、家庭の事情やブランクがあることで仕事復帰への不安が聞かれましたが、会場では病院等からの説明を聞き、オープンな環境で話すことができマッチングできる場になったと思います。今回始良地区での開催でしたが、鹿児島市からの参加者もあり、通勤圏内であれば、地区をまたいでの需要があると思います。看護職・病院等の双方がより多くの中から選択・マッチングできる機会になると感じました。

今後は地域住民だけでなく、看護職も一緒に元気に過ごせるような活動に取り組みたいと思います。

地域ケアサービス委員長 東 美紀子



医療安全ネットワーク委員会の活動

始良伊佐地区では、地区における医療安全に関する情報交換、情報共有ができ、自施設の活動に活かすこと、地域全体の医療安全に関する看護の質向上を目的に、今年度は28施設の参加で年4回の会議を開催しています。なかなか全施設、担当全員の参加は難しい状況ですが、各施設での問題や疑問点、保健所や厚生局などの監査の情報共有を通して意見交換をすることで、自施設での活動に役立てています。メンバー間でその都度困ったことなど、相談し合うことも増えており、今後も施設間の連携を強化し、地域の医療安全の質向上につなげていきたいと考えています。

医療安全ネットワーク委員長 山口 祐子

ナースセンターだより



Vol.151

求人・求職の登録と利用のご案内

e ナースセンター

<https://k-kang.jp/nurse>

検索

e ナースセンターへの登録はこちらから



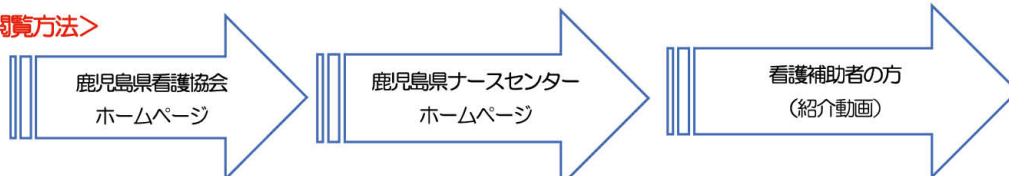
看護補助者確保・定着事業

「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が改正され、看護補助者の無料職業紹介も実施することが重要と明記されており、今年度は日本看護協会の事業として看護補助者確保・定着推進に取り組んでおります。ハローワーク鹿児島やハローワーク国分の協力をいただき、医療のミニ説明会で看護補助者についての広報・周知を行っています。また、看護補助者についてオンデマンド研修を無料で配信しております。看護補助者のお仕事について、多くの方に理解していただけるようにナースセンターで紹介動画を作成し、HPにも添付しております。是非閲覧いただけると有難いです。

※看護補助者の紹介動画を作成しました！

3分程度に凝縮していますので是非ご覧ください。

<閲覧方法>



2024年12月より
看護補助者の求人・求職登録がスタート!!

鹿児島県ナースセンターでは、『病院等で働く医療チームの一員として看護補助者』の就業支援を開始しました！お気軽にご相談下さい。





再就業支援セミナー報告

- 【目的】 就業に向けて必要な知識と技術を学び、看護実践力と就業意欲を高め職場復帰を容易にする
 - 【対象者】 県内に居住し、ナースセンターに登録があり1年以内に就業を希望している看護職
 - 【研修日時】 令和6年10月29日(火) 11月6日(水) 11月13日(水) (3日間コース)
 - 【内容】 看護の動向と看護倫理・呼吸循環とフィジカルアセスメント・口腔ケア・救急時の対応・訪問看護感染防止対策・医療安全の取り組み・・・医療機器の取扱いの講義と演習等
- 《最終レポート感想・アンケート》 「看護の基礎の振り返りができて自信につながった」「同じような仲間がいることで勇気づけられた」等の感想がありまた、「看護職に再び就くことの第一歩になった」「復帰に向けて頑張りたい」等前向きな意見がきかれた



講義・演習の様子

大丈夫かな？



終了証を手にハイポーズ！



19名受講され12名の方が終了証明書を受け取られました
 今後も関連施設と連携をしながら安心して復職できるように支援し
 就業に繋げていきたいと思えます

再就業応援カフェ報告

- 【目的】 求職者と求人施設の交流を通して、求職者の就業意欲を高め求職活動の動機づけとする。
- 【参加者】 参加施設：9施設(病院・社会福祉法人・特別養護老人ホーム・訪問看護ステーション)
受講生：16名(平均年齢45歳・離職期間2か月～20年)
- 【テーマ】 『自由に話してみましよう、気軽に聞いてみましよう♡』



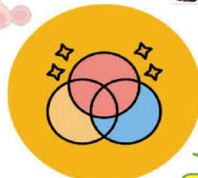
特別養護老人ホーム



社会福祉法人



訪問看護ステーション



病院



自施設のアピールポイントを求職者へ

1～2名の受講生が1施設毎に、交流会のテーマに沿って意見交換を行いました。
 求職者の不安として・・・「技術的な面」「多様な働き方」「就業後の教育体制」等
 求人施設側の意見・・・サポート体制や教育研修の有無、多様な働き方について情報提供。
 就業環境は、求める側、求められる側が共に考えることで就業に繋がるのではないかと
 思われた。
 ◆◆求職者と求人施設が共に考え、お互いに柔軟に対応することで就業の第一歩に繋がる事を期待します◆◆



ハローワークでの医療介護のミニ説明会への参加



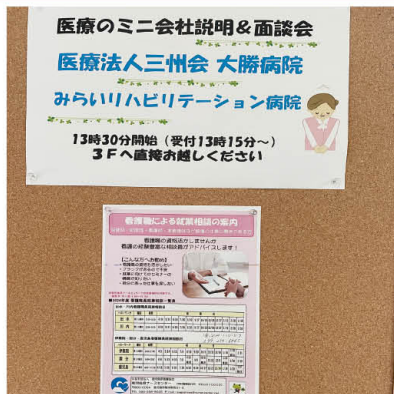
日時：11月8日（金）
 場所：国分シビックセンター（霧島市役所）
 参加事業所 20カ所
 参加求職者 63名うち相談者 6名
 （看護師 5名・准看護師 1名）
【相談担当者】
 HW 国分就業相談員 高田久子様
 ナースセンター相談員 正岡ゆかり

日時：11月20日（水）
 場所：始良公民館
 参加事業所 20カ所
 参加求職者 48名うち相談者 3名
 （看護師 2名・准看護師 1名）
【相談担当者】
 HW 国分就業相談員 作田礼子様
 ナースセンター所長 鮫島明子



★参加事業所のうちナースセンターへ登録がない施設が半数近くあり、事業所の採用担当者との情報交換を行い登録案内を行った。お仕事探しの求職者へは就業相談を行い、看護職の資格を持っていない方へは、病院で勤務する看護補助者仕事内容について動画を活用して説明をする機会となった。

日時：12月5日（木） 場所：ハローワークかごしま
 参加求職者 15名 参加求人施設：大勝病院・みらいリハビリテーション病院
 内容：①ナースセンターの役割 ②看護補助者についてオリジナル動画を活用し説明
 結果：看護職以外の求職者も参加対象であり、ナースセンターの認知度は低かった。今後もミニ説明会への継続参加を検討し、看護補助者を含めた周知活動を行うことで就業支援に繋げていきたい。



【離職看護師等届出制度「とどけるん」届け出状況】

2015年10月～2024年12月までの届出状況
 全国 218,559名 鹿児島県 3,387名
 2024年10月の届出（鹿児島県） 14名
 2024年11月の届出（鹿児島県） 11名
 2024年12月の届出（鹿児島県） 16名



離職時の届出が努力義務となりました。
 職場を退職された時には
 「とどけるん」への登録をお願いします



【e ナースセンター登録有効求人・有効求職状況】

	10月	11月	12月
求人数(人)	728	674	679
求職者数(人)	485	471	475
求人倍率	1.50	1.43	1.43
就業者数(人)	48	18	22

鹿児島県ナースセンター

〔看護師等無料職業紹介所 46-ム-010002〕
 相談日：月～金 9:00～12:00 13:00～16:00
 （来所相談は要予約）
 住 所：〒890-0064 鹿児島市鴨池新町 21-5
 TEL:099-256-8025 FAX:099-256-8079
 Eメール:kagoshima@nurse-center.net
 ホームページ:https://k-kango.jp/

理事会報告

令和6年度 第5回 理事会

日時：令和6年11月16日（土）13：30～16：20
17名出席

- 協議事項
 - 1 基本方針に関する事項
 - 1) 新たな「看護の将来ビジョン」について
 - 2) 令和6年度中間評価について
 - 3) 令和7年度の重点事業・基盤強化事業（案）について
 - 2 事業推進に関する事項
 - 1) 事業検討会の進め方について
 - 3 管理的事項
 - 1) 外部理事の設置について
 - 2) 災害等緊急時の連絡体制について
 - 3) 令和7年度からの休館日について
 - 4 会員支援関係
 - 1) 会館の長期保全計画の対応状況について
 - 2) 資金運用等について
 - 3) 日本看護協会名誉会員候補者等の推薦について
 - 5 その他
 - 1) 神村学園助産課程の設置申請にかかる意見について
- 報告事項
 - 1 基本方針
 - 1) 九州地区法人会員連絡会、地区別法人会、協会・連盟合同会議について
 - 2) 地区別職能委員長会について
 - 2 事業推進に関する事項
 - 1) 教育事業について
 - 2) ナースセンターに関連した事業について
 - 3) 看護補助者確保支援事業について
 - 4) 糖尿病重症化予防に係る人材育成事業
 - 5) 災害支援ナース（災害・新興感染症対応）の状況報告について
 - 6) 医療的ケア児等支援センターについて
 - 7) 訪問看護供給体制総合支援事業について
 - 3 管理的事項
 - 1) 中間監査
 - 2) 議事録（第4回）
 - 4 会員支援関係
 - 1) 令和6年度鹿児島看護協会会員数
- その他

令和6年度 第6回 理事会

日時：令和7年1月11日（土）13：30～16：00
17名出席

- 協議事項
 - 1 基本方針に関する事項
 - 1) 新たな「看護の将来ビジョン」、「令和7年度の重点政策・重点事業」案について
 - 2) 令和6年度事業検討会を踏まえた令和7年度事業計画について
 - 2 事業推進に関する事項
 - なし
 - 3 管理的事項
 - 1) 会館休館日について
 - 2) 通常総会の開催時期について
 - 3) 会館の長期保全計画のための調査結果について
 - 4) 会館のあり方検討会の設置について
 - 5) 相談役の配置について
 - 6) 通勤手当等の規定について
 - 7) 令和7年度改選役員・推薦委員並びに令和8年度代議員及び予備代議員の公募及び推薦状況について
 - 4 会員支援関係
 - 1) 会員加入・継続の促進について
 - 2) 令和7年度鹿児島看護協会名誉会員候補者について
 - 3) 令和7年度鹿児島看護協会業務功労者知事表彰候補者等の推薦について
- 報告事項
 - 1 基本方針
 - なし
 - 2 事業推進に関する事項
 - 1) 業務執行理事会の報告について
 - 3 管理的事項
 - 1) 職員体制について
 - 2) 議事録（第5回）
 - 4 会員支援関係
 - 1) 令和6年度鹿児島看護協会会員数
- その他

※毎回、日本看護協会理事会報告、地区長情報交換会報告を口頭で、職能委員会報告、地区報告、委員会報告他団体会議報告、県出張報告を書面で行っています。

2025年度 会費



納入方法「口座振替」引落日
2025年2月27日（木）

次年度継続を希望しない方 → 退会届を提出してください。

※提出期限2025年2月10日（月）必着

▶退会届は鹿児島看護協会HPよりダウンロードしてください。
▶電話での退会は受付できません。必ず退会届を提出してください。
退会届の提出がないと、2025年2月27日に会費が登録口座より引き落としとなります。

鹿児島県看護協会の看護管理者 メーリングリスト登録のご案内



管理者向け情報共有の方法の一つに、メーリングリストを活用しています。（コロナ関連、協力依頼の呼びかけ、管理者向け最新情報の提供など）まだ、ご登録されていない施設は、是非ご登録してください。
メール：kakankyo@orange.ocn.ne.jp 宛に、件名「メーリングリスト登録希望」として、施設・職位・氏名をご記入のうえ、ご返信ください。

写真募集 看護かごしまの表紙を飾りませんか？

本会にて厳正な審査の上決定します。



応募資格
会員

鹿児島県に関する内容で、風景・季節感のあるもの。
紙面に作品名と応募者の所属施設名、氏名を掲載します。
応募作品は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

採用者には「クオカード」1,000円進呈！

所属施設名、お名前、作品名を明記の上ご応募ください。（データ添付）

※未発表で、かつ応募者が一切の著作権を有しているオリジナルのデジタル作品に限る。
※写真はイメージです。

申し込み先メールアドレス

kakankyo@orange.ocn.ne.jp



編集後記

2025年は60年に一度巡ってくる「己巳（きのと・み）」年です。多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高く、これまでの努力や準備が実を結び始める時期と言われています。皆さんの努力が実を結ぶ年になりますように。

広報委員一同



看護専門職として
社会に貢献しよう



会員の増加と福祉の
向上のため活動しよう



公益社団法人
鹿児島県看護協会
Kagoshima Nursing Association

鹿児島市鴨池新町 21-5
TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079
URL <https://k-kango.jp>
E-mail kakankyo@orange.ocn.ne.jp